

浜松科学館は

館内の一部をリニューアルします

浜松科学館では、二期に分けて館内の一部をリニューアルします。

科学の幅広さが感じられ、さまざまな人が学びを楽しみ、心地よく過ごすことのできる場所を目指します。

第一期

2025年3月下旬オープン！

第二期

2027年3月下旬オープン（予定）

めざすもの

自由に楽しみ、「面白そう」が あふれる広場

1

プロセスを重視した
探求・創造・交流の場

2

社会的包摂
(ソーシャル
インクルージョン)
に基づく共創の場

3

学びと楽しみ
(エンジョイメント) の
融合による
愛着・長期的記憶の
形成の場

4

文化の
ゆたかさにふれる場

5

フィジカル空間 /
サイバー空間ともに
開かれた場

どんなところが新しくなるの？（第一期）



創造や交流の場所「ROOM※」

※名前は仮称です

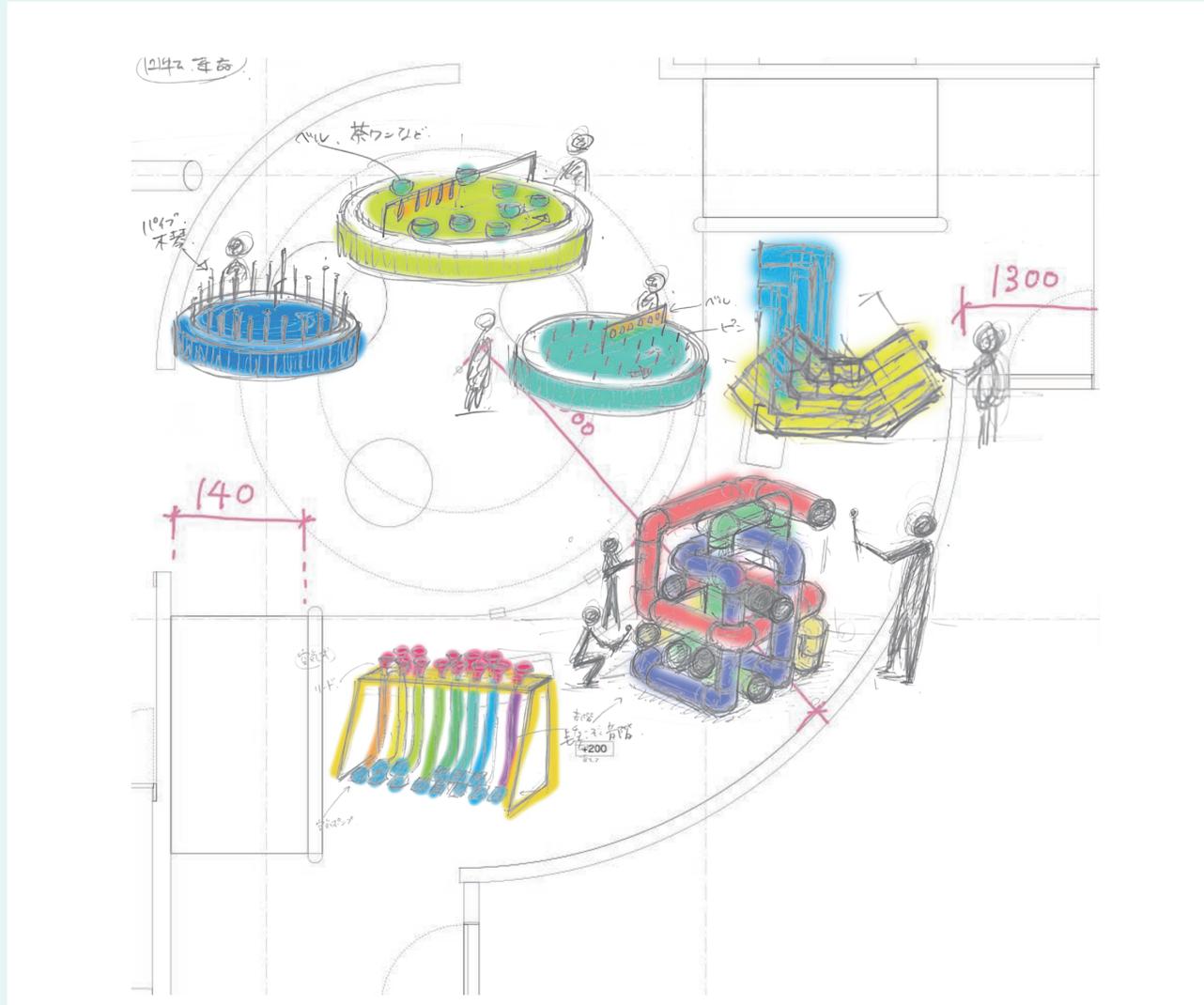
常設展 2 階に、創作などを体験できるスペース「ROOM（ルーム）」を新設します。ものづくりや、さまざまな人との交流が楽しめる場所を目指します。



いろいろな実験が時々で楽しめる「WAGON」

可動式の実験展示台「WAGON（ワゴン）」を常設展の各所に設けます。さまざまな実験装置が搭載され、時期等によって内容が変わる、変化のある展示を目指します。

どんなところが新しくなるの？（第一期）



日用品で音を体験！ 「へんてこ楽器」

パイプや食器が楽器に！？ 身近にあるモノを使用した、へんてこな楽器たちが集まります。あらゆる人が「音」を楽しめることを目指します。

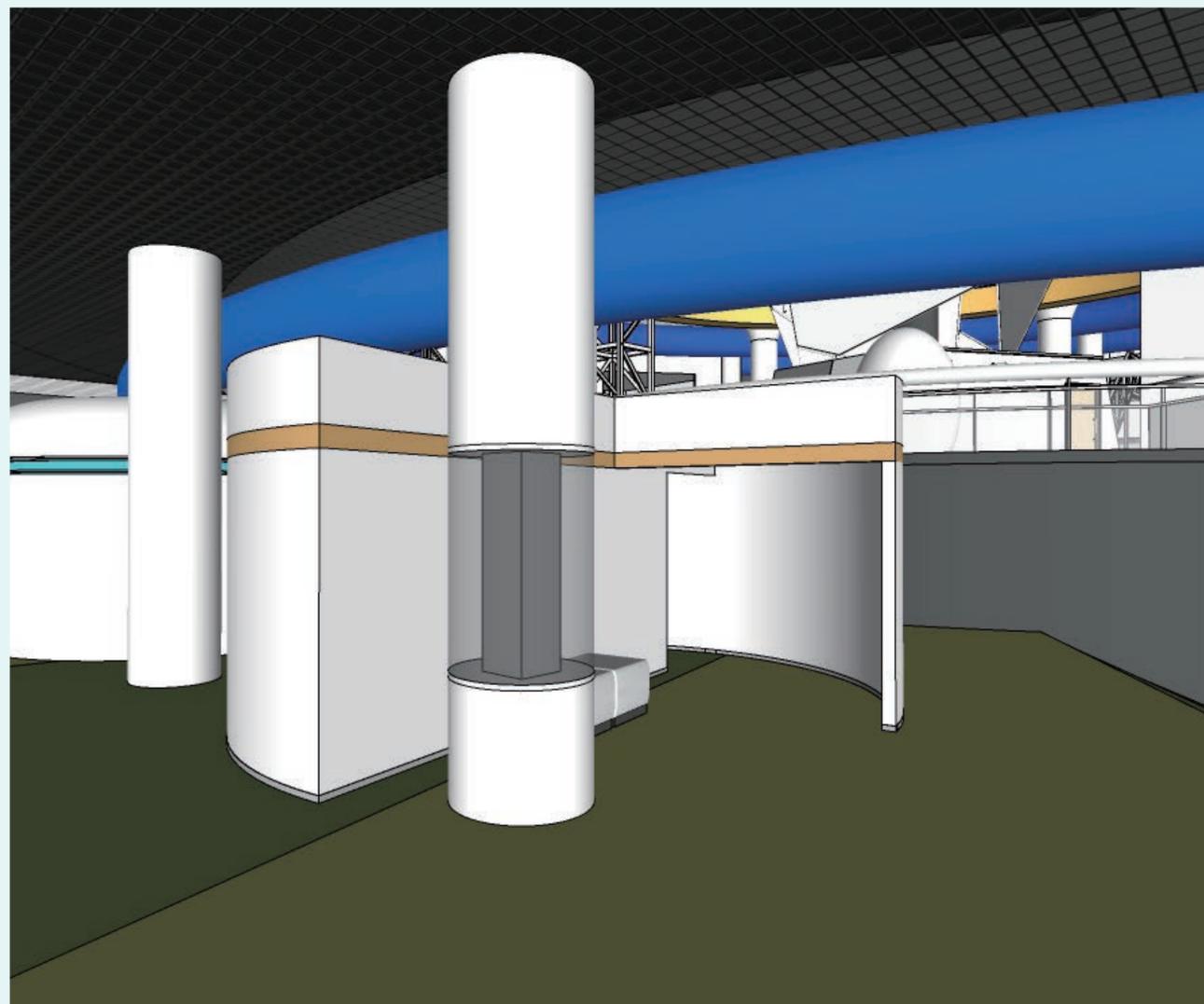
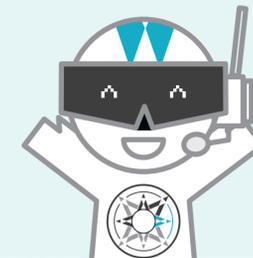


みらいーらステージの反対側を ギャラリースペースに

みらいーらステージのバックヤードを増設するとともに、裏側の壁面を、ギャラリースペースなど、多用途に活用できる場をつくります。

どんなところが新しくなるの？ (第一期)

トイレなど一部のサインも
新しくなります！



1F・2F に授乳スペースを新設

1F 出口ゲート付近と 2F キッズ・サイエンス・ランド手前に授乳室を新設。小さなお子様を連れた方が安心して使用できるスペースとします。



ボランティアルームを新設

浜松科学館で活動するボランティアメンバーが滞在、交流できるボランティアルームを設けます。メンバーの主体的な活動を支えます。

工事のお知らせ（第一期）

以下の日に更新工事を行います。工事箇所のみを封鎖し、常設展すべての閉鎖はいたしません。皆様にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

1 回目工事

2024 年 9月23日(月)～10月7日(月)

※9/24～9/27、9/30、10/7 は休館日です

※進捗により、期間が延びる場合がございます

※開館時間中も工事をいたします。作業音などが出ている場合もございます。

工事箇所：2F「新技術コーナー」全面、2F「キッズ・サイエンス・ランド」手前、2F カゾーン「水のテーブル」付近、1F 出口ゲート付近、1F 授乳室、M2F「みらいーらステージ」「みらいーらテーブル」

2 回目工事

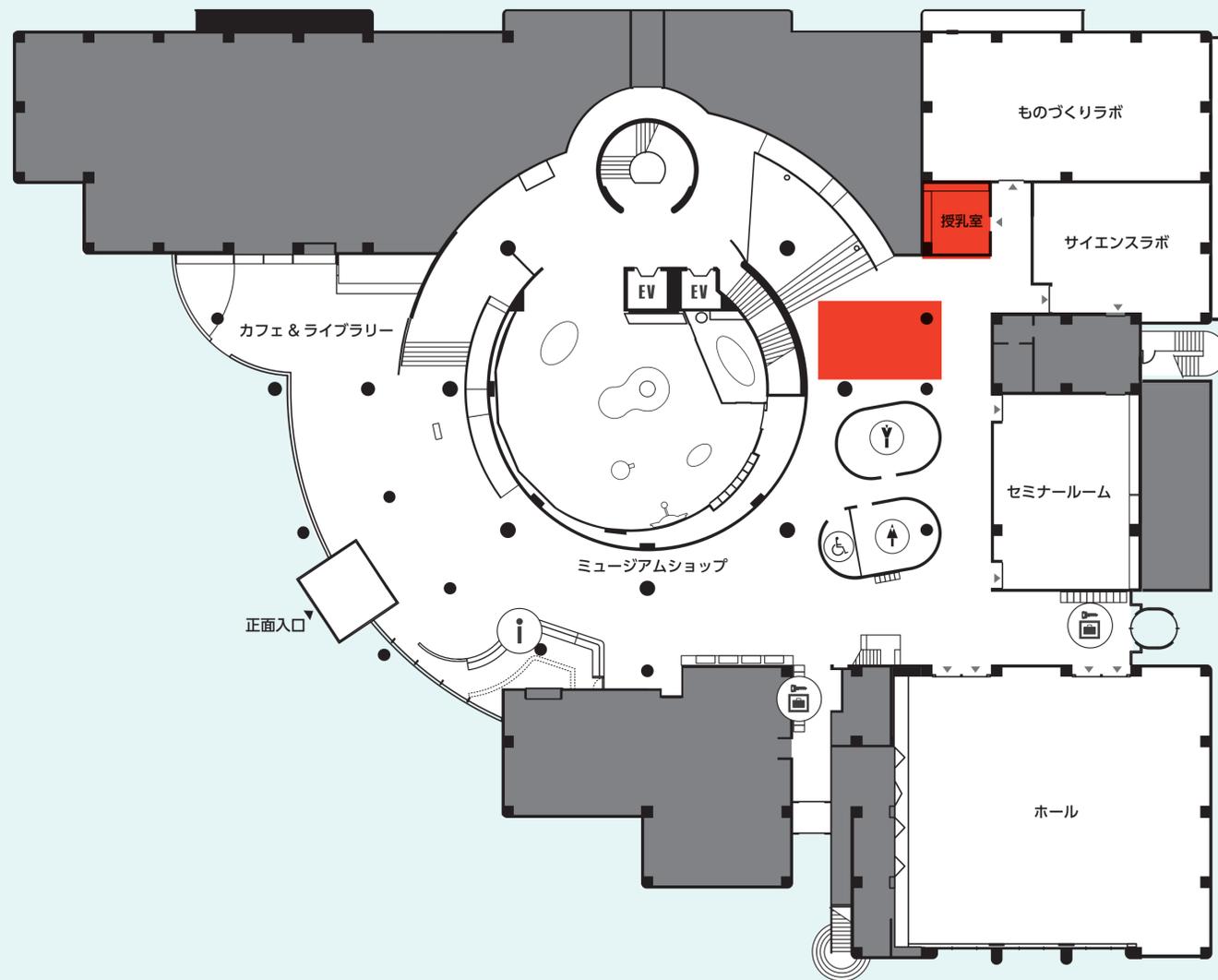
2025 年 1月下旬～2月(予定)

工事箇所：2F「音ゾーン」など

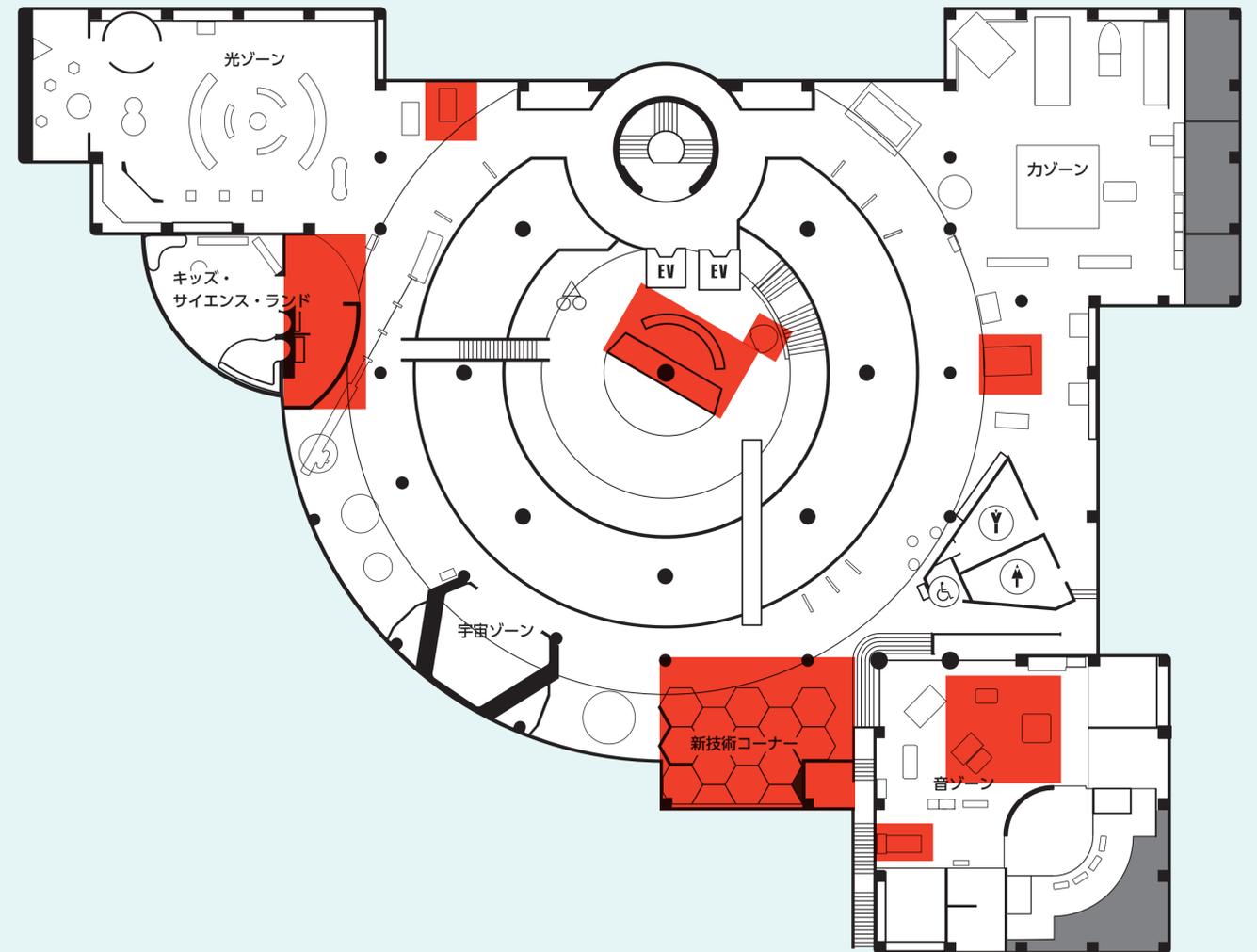
工事箇所

1回目工事 2024年9月23日(月)~10月7日(月)

1F



M2F・2F

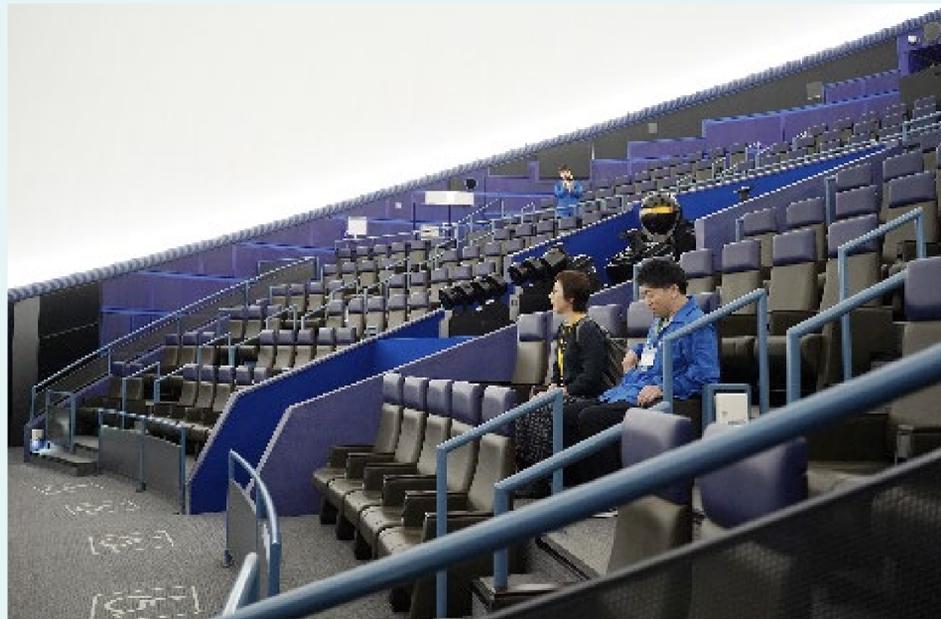


市民のみなさまとともに

DE&I※1の実現に向けて、浜松市内在住のリードユーザー※2の方々と一緒に館内をめぐり、「さまざまな人が利用しやすい科学館」をともに考えていく「インクルーシブデザインワークショップ」を行いました。

※1 DE&I…多様性(ダイバーシティ)、包括性(インクルージョン)に、エクイティ(公正性)を加えた概念。多様性を認め、それぞれの属性や状況(年齢、性別、文化、国籍、民族性、宗教、障害、階級、収入等)による機会取得の不都合がないこと(公正であること)を目指す考え方。

※2 リードユーザー…対象となる環境やサービスからは遠い(または遠くにさせてしまっている)属性を有し、視座・視点をもって気づきを与えるユーザー



よりアクセスしやすいように。
公式ウェブサイトも
リニューアル!

